

## 地域包括ケアの視点を取り入れた小児看護学実習の学修成果と今後の課題

－実習レポートの分析より－

西村美紗希<sup>1)</sup>\*・山本裕子<sup>1)</sup>・上山和子<sup>1)</sup>・小田慈<sup>2) 3)</sup>・宮長邦枝<sup>3)</sup>・太田亜矢子<sup>3)</sup>

1) 新見公立大学健康科学部看護学科 2) 新見公立大学 3) 新見中央病院

(2023年9月20日受付、11月15日受理)

本研究は、学生の地域の小児科外来における学びを地域包括ケアの視点からまとめ、今後の実習方法への示唆を得ることを目的とした。研究方法は、同意が得られた実習レポートをKHCoderを使用し、テキストマイニングによる分析を行った。その結果、学生は上位に「子ども」「保護者」「診察」「行う」「考える」「看護師」「予防接種」「感じる」「必要」「家族」を挙げており、小児看護における外来で大切とされる内容を学ぶことができていた。また、上位には挙がらなかったが、「地域」「病院」など地域包括ケアの視点からも学ぶことができていた。

以上より、学修成果としては、学生の小児科外来での健康の維持増進の理解は深まっていた。課題としては、指導者や教員が実習目標を共通理解した上で、地域における小児科外来の役割に焦点が当てられよう、指導していく必要性が示唆された。

(キーワード) 小児看護学、地域包括ケア、外来、テキストマイニング

### I. はじめに

厚生労働省<sup>1)</sup>は、子育て支援対策として2016年に子育て世代包括センターを設置し、地域で妊産婦・乳幼児の状況を継続的・包括的に把握し、地域で切れ目ない子育て支援として各機関の役割を調整し、充実した支援を図ることを提唱した。地域での子育て支援における専門職の役割としては、保健・医療分野で看護職の果たす役割は大きいと考える。

看護基礎教育課程の教育内容は、社会の保健医療のニーズに沿い改定が重ねられている<sup>2) 3)</sup>。また、看護学教育モデル・コア・カリキュラムでは、社会の変遷に応じた多様なニーズに応える看護人材の養成が求められている<sup>4)</sup>。看護の対象が療養する場としては、一定の医療機関に留まらず、地域にも広がりを見せており、地域包括ケアの概念のもとに、地域をフィールドとした実習展開の考え方が掲げられている。加えて小児の地域包括ケアにおける多職種連携・協働の概念をとおして地域で子どもを育てる看護職の役割は大きいと考える。小児看護学実習においても、地域に焦点をあてた実習への移行を考慮し、地域の子育て支援における小児看護学実習の展開方法の検討が必要と考えられている<sup>5)</sup>。

A大学の小児看護学の実習形態として、病院実習(小児病棟および小児科外来)と保育施設実習(子育て支援センター)で展開を行っている。この実習形態に加えて、2022

年度より小児の地域包括ケアの考え方を導入した実習展開として、地域にある小児科外来(B病院)での実習を取り入れた。B病院の小児科外来へは子育て支援センター利用者も来院することが勧奨されるため、子どもの健康の維持増進の観点も踏まえて小児の地域包括ケアについて一体化した学びを得ることができると考える。

本研究では、学生の地域の小児科外来における学びを地域包括ケアの視点からまとめ、今後の実習方法への示唆を得ることを目的とする。

### II. A大学小児看護学実習概要

A大学看護学科では3年次の9月～4年次の7月の期間で、1グループ10～11名編成として、グループごとに領域実習を行っている。その中で小児看護学領域では、社会的ニーズである次世代を育むという視点を持ちつつ、育児期を中心とした小児と家族を支援する看護を展開できる態度を養うことを目的として実習を展開している。

実習目標は以下に示す。

1. 健康な小児の発達段階の特徴を知り、その発達段階に応じた保育的な働きかけを理解する。
2. 各期の発達段階別の健康障害をもつ小児および家族の看護問題を捉え、援助の必要性について理解する。
3. 小児の保健・医療・福祉・教育について理解し、幅広く健康問題を捉え、小児看護の役割を理解するという3点

\*連絡先: 西村美紗希 新見公立大学健康科学部看護学科 718-8585 新見市西方1263-2

を大項目として掲げている。

小児看護学実習の目標として、2022年9月からの実習より新たに目標3の小項目へ小児の地域包括ケアの視点から看護の役割を理解することを追加した。

以下に実習概要を示す(表1)。

表1. 小児看護学実習概要

	曜日	項目	実習内容
	金	オリエンテーション	実習前オリエンテーション・演習
1 週 目	月	実習	病院実習
	火	実習	病院実習
	水	実習	病院実習
	木	実習	病院実習
	金	学内	カンファレンス
2 週 目	月	実習	病院実習(地域包括ケア実習)
	火	実習	保育施設実習
	水	実習	保育施設実習
	木	実習	保育施設実習
	金	学内	カンファレンス

### III. 研究方法

#### 1. 研究デザイン: 質的記述的研究

2. 研究対象: 2022年度後期~2023年度前期にA大学看護学科で小児看護学実習を行った学生 83名のうち同意の得られた72名のレポートを分析に用いた。

3. 分析方法: 科目の成績判定が確定後に小児看護学実習の「病院実習(地域包括ケア)」の記録を分析対象とした。手順として新見公立大学研究倫理審査会から承認後、対象者への説明書を用いて研究の趣旨を説明し、自著による同意書の提出が得られた学生のレポートを分析対象とした。小児看護学実習において、新たに追加した小児の地域包括ケアの視点から看護の役割を理解することについて、中山間地域での外来実習後の学びレポートを分析に用いた。分析過程として地域にある小児科外来での学びを抽出した。

次に、フリーソフト「KHCoder」を使用し、テキストマイニングによる分析を以下の順で行った。

- ① 頻度の高い語を抽出した。
- ② 形態的解析および語の関係性をみるための共起関係を検討した。

### IV. 倫理的配慮

本研究は、実習記録が分析対象となるため、研究同意者の名簿を作成、ナンバリングを行い、同意者の記録が特定されないように分析用データの作成、数字での管理を徹底し、本研究の目的である地域包括ケアの視点で記載されている記述を抜粋し、分析を進めていくこと、同意しない、同

意撤回しても成績に影響することなく、不利益が一切ないことを説明書と口頭で説明した。実習記録(コピー)、分析用データは分析終了後、10年間保管し、紙媒体はシュレッダーにて破棄し、データは完全に消去すること、また、調査途中であっても同意撤回の申し出がある場合、中止できることを保証した。本研究は、新見公立大学研究倫理審査会での承認を得て実施した(承認番号: 291)。

なお、本研究における利益相反は存在しない。

### V. 結果

KHCoderによるテキストマイニングを行い、「保護者」、「看護師」、「予防接種」、「きょうだい」、「小児科」などを強制抽出して分析した。

#### 1. 抽出語句

分析対象のテキストデータを算出した結果、総単語数は30,418語であり、分析に使用された語は、12,350語、使用されたと異なり語は2,092語であった。

単語頻出解析にて頻出していた単語上位100位を表2に示す。頻出単語は多い順に、「子ども」、「保護者」、「診察」、「行う」、「考える」、「看護師」、「予防接種」、「感じる」、「必要」、「家族」などであった。

表2. 学生の地域の小児科外来における学びの頻出語(上位100語)

順位	抽出語	出現頻度	順位	抽出語	出現頻度	順位	抽出語	出現頻度
1	子ども	393	34	患者	41	67	学校	23
2	保護者	215	35	確認	40	68	感染症	23
3	診察	180	36	泣く	40	69	相談	23
4	行う	146	37	接種	40	70	持つ	22
5	考える	110	38	地域	40	71	頑張る	21
6	看護師	108	39	小児科	38	72	軽減	21
7	予防接種	107	40	時間	35	73	前	21
8	感じる	98	41	状態	35	74	大きい	21
9	必要	95	42	処置	32	75	把握	21
10	家族	92	43	年齢	32	76	怖い	21
11	症状	85	44	受ける	31	77	いつ	20
12	病院	84	45	受診	31	78	合わせる	20
13	学ぶ	81	46	人	30	79	手	20
14	子ども	80	47	打つ	30	80	出る	20
15	声かけ	79	48	注射	30	81	声	20
16	医師	78	49	感染	29	82	判断	20
17	見る	74	50	観察	29	83	様々	20
18	不安	72	51	重要	28	84	検査	19
19	大切	70	52	診察室	28	85	市	19
20	様子	67	53	見学	27	86	次	19
21	ワクチン	64	54	色	27	87	少し	19
22	説明	61	55	安全	26	88	診る	19
23	分かる	61	56	言葉	26	89	口	18
24	多い	58	57	行く	26	90	終わる	18
25	伝える	55	58	知る	26	91	他	18
26	問診	55	59	発熱	26	92	体重	18
27	聞く	52	60	役割	26	93	配慮	18
28	来る	52	61	情報	25	94	母子手帳	18
29	工夫	46	62	薬	25	95	来院	18
30	場合	46	63	外来	24	96	コミュニケ	17
31	対応	46	64	痛い	24	97	スムーズ	17
32	安心	44	65	理解	24	98	違う	17
33	きょうだい	43	66	話	24	99	可能性	17
						100	関わり	17

2. レポート内容の共起ネットワーク分析の結果

共起ネットワークの結果を図1に示す。共起ネットワーク分析に利用する語の設定は、対象語を120語程度となるため最小出現数を15とし、上位100語を共起ネットワークに示した。共起ネットワークの円の大きさは、語の出現頻度が多いことを示し、円を結ぶ線の太さは、関係性の強さを表している。共起ネットワークは11のサブグラフに分類された。

1つ目のサブグラフは、小児看護を行なう上での対象である、「子ども」と「保護者」を中心に、「安心」感を得られるような「声かけ」を「行う」ことや、「不安」「軽減」できるように関わることの大切を感じていた。

2つ目のサブグラフは、「予防接種」、「ワクチン」では副反応が出ることなども「説明」し、「母子手帳」と合わせて、「次」の予定を「伝える」ことも看護師の役割であると学んでいた。

3つ目のサブグラフは、「中山間地域」にある「地域」の「小児科」であるため、学校や家族に関することなど、地域で生活する患児・家族に目を向けた話も踏まえながら関わるという特徴を感じていた。

4つ目のサブグラフは、「感染対策」として、診察室に医療用空気清浄機を設置し、「空気」の流れを作っているこ

となどを学んでいた。

その他のサブグラフでは、小児科外の特徴である「年齢」に「応じる」対応や「診察室」における「様々な工夫として「絵本」の設置などがあることを学べており、成人とは違い、小児科特有の特徴を学ぶことができていた。

VI. 考察

1. 地域包括ケアの視点から捉えた地域の小児科外来における学びの特徴

地域の小児科外来における学びでは、頻出語として「子ども」「保護者」「診察」「行う」「考える」「看護師」「予防接種」などが上位に挙がっていた。これは、実習目標として小児科外来で保健医療の観点から対象者とその保護者に向けた健康の維持増進の視点として取り上げていたと考える。

次に共起ネットワークの結果から、小児看護の対象である、「子ども」と「保護者」を中心に学びが挙がっていた。診察を受けるのは「子ども」であり、子どもを中心に関わっていくが、保護者も不安を抱えているため、子どもと保護者それぞれに対して安心できる関わりが大切であることを学べていた。また、予防接種では、各ワクチンについ

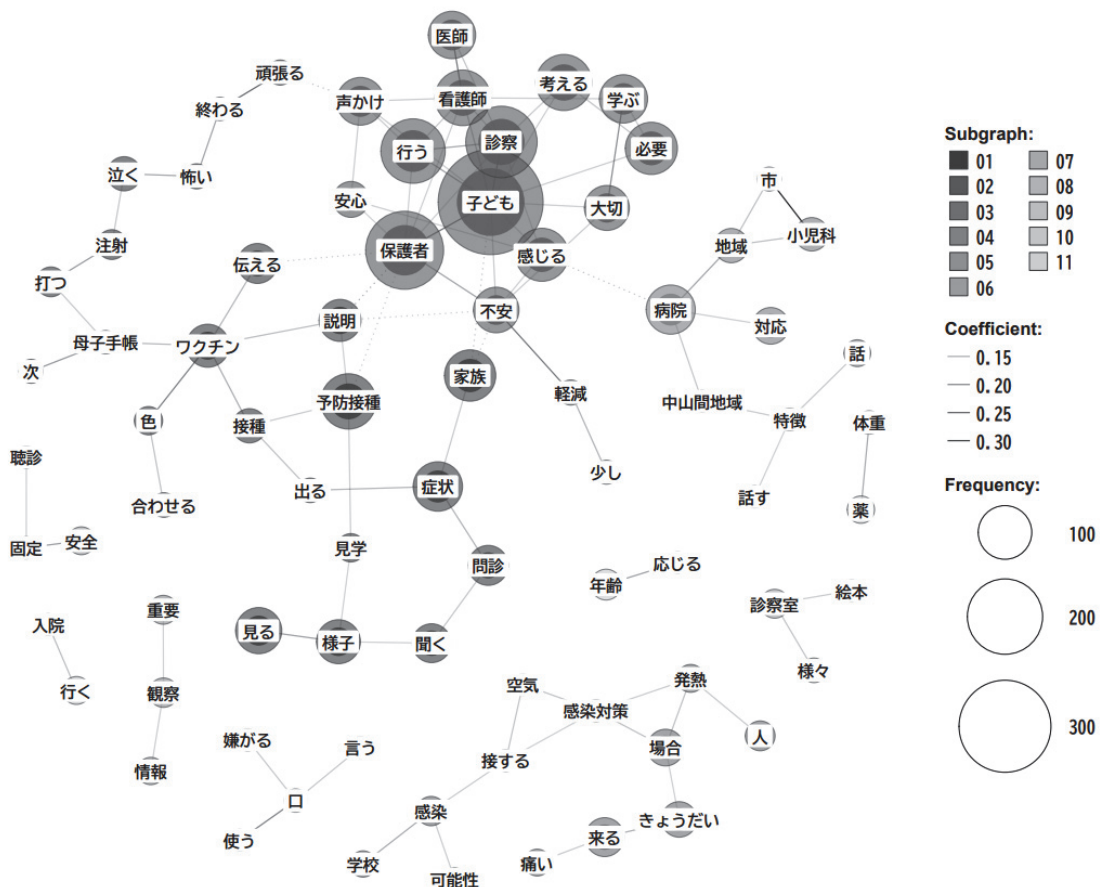


図1. 学生の地域の小児科外来における学びの共起ネットワーク

で説明をし、効果とともに起こりうる副反応についても保護者へ伝えることの必要性や、乳幼児期に接種すべきワクチンは複数あるため、順調に接種していけるようにスケジュールすることの必要性も学べていた。

さらに、B病院が中山間地域の中にある数少ない小児科であることは、多くの学生が理解できていたと考える。そして、地域にある病院の特徴として、看護師が子どもや保護者に対して、ゆっくりと話を聞くような関わりをしていると捉えていた。これは、内閣府<sup>6)</sup>が挙げている「地域・社会による子育て支援」の地域で安全にかつ安心して子育ての実際の場面を学ぶことができたのではないかと考える。このことから、地域の中の数少ない小児科では、地域住民との関わりを大切にしながら医療・看護を行う重要な役割があることを理解できていたと考える。地域密着型中規模病院の小児科一般外来はただ単に受診する子どもの疾病を治療する場ではなく、その地域で暮らす子どもの健康を守る役割を担っていると言われており<sup>7)</sup>、実際に援助のタイミングを見極めながら、家族に声をかけ、その不安を解消し、子どもを育てる力を育むように関わる看護師の姿から、学生はその役割について理解できたのではないかと考える。

そして、1つ目のサブグラフである「子ども」と「保護者」を中心とした看護師の役割と、3つ目のサブグラフである「地域」の「小児科」が弱い線であったが繋がっていたことから、地域における小児看護の特徴を学べていたのではないかと考える。

しかしながら、子どもを中心とした看護師や診察などのサブグラフとのつながりが濃くないことや、医師以外の職種との連携の視点が少ないことが課題として挙げられた。

## 2. 小児科外来実習方法と今後の指導への示唆

今回、新たに地域のB病院での実習を開始し、学生は小児科外来で子どもおよび保護者を対象に診察場面を通じた健康の維持増進の必要性について学び、小児看護の特徴を捉えることができていたと考える。具体的には、外来看護の特徴や役割について、様々な健康レベルにある子どもが来院することや外来で行われる予防接種についても学べていたため、小児の地域包括ケアの視点から看護の役割を理解することを目的に、中山間地域にある小児科外来で行った実習形態としては有用であると考えられる。

しかし、小児科外来の子どもの受診をきっかけに、育児支援や健康教育の機会を設けたり、地域社会における支援につなげる<sup>8)</sup>という役割については、今回の学びの中に具体的な内容は挙げておらず、1週目の病院実習で得た学びを今回の実習の学びに繋げられるよう学生への指導を工夫し、その役割が学べるようにしていく必要があると考える。

また、地域に関連する学びも挙げられているものの、地域

社会における支援へのつながりや本研究の目的である地域の小児科外来における地域包括ケアの視点を意識した学びの記述は少なかった。地域包括ケアとは、保健・医療・福祉・教育・行政・地域住民など多岐にわたる職種での幅広い連携であるが、実習時期や半日という限られた実習時間の中で、必ずしも学生全員がこういった場面を体験することは難しく、学びとして挙げてこなかったのではないかと考える。さらに、子育て支援センターの利用者もB病院を利用しているが、単発的な疾病での受診や予防接種や健診での受診がほとんどである。そのため、学生は実習の中で、慢性的な疾病を有している児や医療的ケアを必要とする児と接することは少なく、包括的に支援する場面について学ぶことは難しかったと考える。加えて、入退院後のフォローが必要となるケースでは、外来時に継続的に支援ができる体制を作っていく必要がある。現在、小児の入院は県都市部の病院が多い。そのため、県都市部の病院との連携が必要となってくる。B病院のような地域にある病院が家庭と医療機関および地域社会をつなぐ役割を担い、子どもの健康と安全を守っているということを指導者や教員が学生へ意識的に伝えていくことで学生の地域包括ケアの視点への学びが深まるのではないかと考える。

これらのことから、限られた実習時間の中で、病院同士の連携などは見学できることが少なく、学生の学びとして挙がりきづらいつと考えられる。しかし、子どもの健康と安全を守るために医療機関同士の連携がいつでも取れる体制となっていること、連携が必要な場面でのどのように対応をしているのか事例を踏まえて指導者や教員が意識的に伝えていくことで、地域包括ケアの視点での学びが深まると考える。

今後の課題としては、3年次と4年次では地域包括ケアの視点に対する学びの理解が学年進度により違いが生じる可能性があり、この点の指導方法の検討が必要と考える。

## 文献

- 1) 厚生労働省: 子育て世代包括支援センター業務ガイドライン. 2017. <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/kosodatesedaigaidorain.pdf> [2023.9.20 アクセス]
- 2) 厚生労働省: 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の交付について. 2020. [https://www.mhlw.go.jp/web/t\\_doc?dataId=00tc5425&dataType=1&pageNo=1](https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00tc5425&dataType=1&pageNo=1) [2023. 7.19 アクセス]
- 3) 厚生労働省: 看護基礎教育検討報告書. 2019. <https://www.mhlw.go.jp/content/10805000/000005574.pdf> [2023.7.19 アクセス]
- 4) 大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会

- : 看護学教育モデル・コア・カリキュラム～「学士課程においてコアとなる看護実践能力」の修得を目指した学習目標～. 2017. [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/koutou/078/gaiyou/\\_icsFiles/afieldfile/2017/10/31/1397885\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/078/gaiyou/_icsFiles/afieldfile/2017/10/31/1397885_1.pdf) [2023.7.19 アクセス]
- 5) 上山和子, 山本裕子, 西村美紗希, 他1名: 小児の地域包括ケアにおける小児看護学実習の展開と実習構造図. 新見公立大学紀要, 42, 177-179, 2022. doi/10.51074/00001356
- 6) 内閣府: 令和3年版 少子化社会対策白書 第1部 少子化対策の現状 (第2章 第1節). 2021. [https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2021/r03webhonpen/html/b1\\_s2-1.html](https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2021/r03webhonpen/html/b1_s2-1.html) [2023.9.20 アクセス]
- 7) 飯村直子: 小児科一般外来における看護師の働き—ある地域密着型中規模病院におけるエスノグラフィ— 日本看護科学会誌, 34, 46-55, 2014. doi/10.5630/jans.34.46
- 8) 河俣あゆみ: 小児の外来看護の現状と今後の展望. 小児看護, 43 (2), 138-144, 2020.

## **Learning Outcomes and Challenges in Pediatric Nursing Training Incorporating a Perspective of Community-Based Integrated Care - Analysis of Training Reports -**

### Summary

This study aims to evaluate the learning of nursing students who underwent practical training in community pediatric outpatient clinics based on the perspective of community-based integrated care and to obtain ideas for future training. Using a KH Coder, we conducted a text-mining analysis of the training reports submitted by the students who had expressed consent to the study. The analysis showed that the most frequently used words were as follows: “child,” “guardian,” “examination,” “conduct,” “think,” “nurse,” “vaccination,” “feel,” “need,” and “family.” These suggest that the students acquired knowledge and skills important in pediatric outpatient nursing. Further, although some words such as “community” and “hospital” were not included in this list, the included words suggest that the students learned about the perspective of community-based integrated care. For the learning outcomes, it is suggested that the students improved their understanding of health maintenance and promotion in the pediatric outpatient clinics. For the remaining challenges, the findings suggest the necessity for instructors and faculty to share the understanding of training objectives, and provide instructions so that students can focus on the role of pediatric outpatient clinics in the community.

Keywords: Pediatric nursing, Community-based integrated care, Outpatient, Text mining